

児童の困り感をめぐる教師の関与の過程 —6年生跳び箱運動における省察を通して— (要旨)

身体文化サブプログラム

小口 佑介

【指導教員】 石川 泰成 森田 哲史

【キーワード】 セルフスタディ 省察 困り感 関与 跳び箱運動

1. 研究の目的

本研究は、体育科跳び箱運動の授業において、児童の困り感を手がかりに、教師である筆者の見とりと関与がどのように変容していったのかを、セルフスタディとして明らかにすることを目的とする。具体的には、教師の見とりと児童の実感との一致/ズレに着目し、それらの経験が省察シートの記述やクリティカルフレンドとの対話、研究授業及び協議会を通してどのように再解釈され、教師の見とり・関与や指導観の再構築へとつながっていったのかを探究する。以上を通して、三輪(2023)のいう「技術的熟達者」から「省察的实践者」への教師の自己更新の過程を明らかにする。

2. 研究のデザイン

本研究は、研究方法としてセルフスタディを選択した。本研究は、体育科の跳び箱運動の授業において、児童の困り感を手がかりとした教師である筆者自身の見とりと関与、ならびにそれをめぐる省察の過程を研究対象とする。児童の困り感そのものを直接の目的とするのではなく、それを手がかりに、教師が学習場面をどのように見とり、関与していたのかという実践と思考の変容に焦点を当てた。

研究場面は、埼玉県内K小学校第6学年1学級28名を対象とした体育科の跳び箱運動(全8時間)の授業であり、研究期間は2025年7月下旬から2026年1月中旬までとした。データとして、授業映像、省察シート、学習カード、協議会およびゼミの記録を用い、困り感への関与場面を抽出・照合しながら、教師の見とりと関与の変容を検討した。

本研究は、実践前の省察、授業実践、授業後の省察と再解釈を往還するセルフスタディとして進められた。とりわけ、5時間目授業後の協議会を契機に見とりの前提を問い直し、実践全体を再解釈することで、困り感をめぐる経験が教師の指導観の再構築へとつながる過程を整理した。

3. セルフスタディの実際

本研究では、6年生体育科跳び箱運動(全8時間)の授業を対象に、教師である筆者自身の見とりと関与をセルフスタディとして検討した。全授業を映像記録し、授業中に生じた教師の関与場面を抽出した上で、省察シート、学習カード、協議会の記録と照合しながら分析を行った。

分析の観点は、①困り感への関与回数、②教師と児童の発話の往復回数(ラリー数)、③困り感の見とり方(観察・文脈・訴え)、④教師の見とりと児童の実感の一致/ズレ、⑤困り感の見とりと関与の変化である。その結果、困り感への

関与は全時間で確認されたが、単元前半では1ラリーで完結する即時的見とり・関与が多かった。一方、単元後半ではラリー数が増加し、学習カードや児童の語りを手がかりとした対話的見とり・関与が多く確認された。ズレの内容も、前半では教師の想像や気持ちに基づくものが多かったのに対し、後半では技能や目標の解釈をめぐるズレが中心となっていた。これらの変化は、5時間目授業後の協議会と省察後の単元後半の授業において確認された。

4. 考察

分析から、単元前半では、児童の困り感を教師が観察にもとづいて即時的に判断し、教師の価値判断や理想像が先行した関与に留まっていたことが明らかとなった。ここでは、児童の困り感として捉えられていたものの一部が、教師自身の焦りや不安に起因していた可能性が示唆される。

この見立てに揺らぎをもたらしたのが、5時間目授業後の協議会および省察である。省察シートやクリティカルフレンドとの対話を通して、見とりの前提が問い直され、単元後半では困り感の意味を教師と児童が共に確かめる関与へと変容していた。ズレの件数も減少し、その内容は教師の推測から、学習内容や目標をめぐる認識の違いへと移行していた。

5. 結論

本研究は、6年生跳び箱運動の授業において、児童の困り感をめぐる教師の見とりと関与の変容を明らかにしたセルフスタディである。

本研究から、次の3点が明らかとなった。第1に、教師の即時的見とり・関与は、対話を通して困り感を確かめる対話的見とり・関与へと変容していた。第2に、困り感を取り除くべき問題ではなく、学習を前進させる契機として機能していた。第3に、児童の困り感の一部は、教師自身の困り感に起因していた可能性が示唆された。

6. 課題

児童の困り感の一部は、教師自身の困り感に起因していた可能性が示唆された。今後は、その条件や影響を検討するとともに、事後授業や児童の学びの変容との対応を明らかにしていきたい。

主な参考・引用文献

アナスタシア・P・サマラス(2024). 教師のためのセルフスタディ入門. 学文社
三輪建二(2023). わかりやすい省察的实践. 医学書院